

一般質問

議案以外の市政一般に関する質問を一般質問と言います。

十九人の議員が行った一般質問のうち、主な質問と答弁の要旨を掲載しています。

改革ネット仙台

斎藤 範夫 議員
不採算で多額の負債を抱えるアルビルについて、不動産証券化によって民間譲渡を進めてはどうか。

答 事業運営に見直しが必要と認識している。事業目的からも売却が基本なので、ご指摘の民間の動向も見据え、手法や時期を検討する。



ペDESTリアンデッキから望むアルビル

その他の主な質問項目
東北ハンドレッドの抜本的な経営改革を
「塩漬け土地」の解消
パブリックコメントの導入
野田 幸代 議員
エル・ソーラ仙台における図書、及び講座内容の一部は一般常識からかけ離れていると危惧するが、いかがか。
答 図書は様々な分野から適正な選書に努め、より客観性の確保に配慮する。講座は男女共同参画財団の自主事業で専門家による問題提起だが、今後十分検討し実施する。
その他の主な質問項目
市民センター事業の今後の展開について

一般質問

公明党

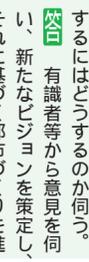
山口 津世子 議員
仙台固有の「**居久根**」や屋敷林のボランティア活用による管理・保全策を講ずるべき。
答 所有者の意向を踏まえ、地域や市民活動団体の方々が関わる仕組みを検討したい。



居久根(若林区)

その他の主な質問項目
居久根 屋敷林の課税見直し
秋保・作並温泉の観光案内や情報発信の充実を
学校でのCO₂削減の取組み
介護予防メニューの充実
高齢者の安否確認
小児救急電話相談の周知を
菊地 昭一 議員
大規模地震の教訓から、家具類固定は減災の点で重要だ。市の促進策について伺う。
答 出前講座等の啓発活動を積極的に展開する等、様々な手法を工夫し家具の転倒防止策の更なる推進に取り組み、その他の主な質問項目
分譲マンションの相談窓口の拡充
分譲マンションへの行政サービスの上
市民の利用しやすい駐輪場
危険なブロック塀の除却
鈴木 広康 議員
小学校における英語活動を推進し、国際社会で活躍できる子どもたちの育成に力を注ぐべきではないか。
答 日本語の習得途上にある子供の発達段階の課題や他

社会学級の継続について
高橋 次男 議員
名取川 流域の河川敷活用のため、河川管理者の国土交通省と協議のうえ、地元意向を踏まえ、自然環境に留意した整備をすべき。
答 河川敷利用について国交省の理解を得ており、平成十八年度から地元小学校や周辺住民の方々と、自然環境を活かした計画づくりを進める。その他の主な質問項目
南仙台駅周辺の渋滞緩和
博物館運営の方向と在り方
市民センター事業の見直し
加藤 栄一 議員
本市の将来ビジョンを早急に市民に知らせ、市民の求めるものを受け止めて具現するにはどうするか伺う。
答 有識者等から意見を伺い、新たなビジョンを策定し、それに基づく都市づくりを進めるべく市民に提示したい。
その他の主な質問項目
食料自給率向上と農政推進
食育の推進について
J-R 仙山線について
機能強化と積極的活用
高校生のマナーアップ作戦
渡辺 博 議員
市長の市政執行に関して市民に戸惑いがある。今までの市政や市民との関係をどう考え、今後進めていくのか。
答 施政方針は基本構想等が示す時代の流れを踏まえたもので整合している。今後市民や議会と率直な意見交換をし理解いただくよう努める。
その他の主な質問項目
動物愛護行政基本方針の周知と小中学校での教育
イクレイによる地球環境保全推進での中心的役割を



泉ヶ岳野外活動センター

都市計画道路整備の進捗
関根 千賀子 議員
高齢者の介護で、介護者の急病等の緊急時に対応する「救急介護センター」が必要と考えるが、構想はあるか。
答 緊急ショートステイ事業に加え、今回の介護保険制度改正で創設される、**夜間対応型訪問介護**などの地域密着型サービスの充実を図る。
その他の主な質問項目
福祉教育、学校でのボランティア活動及びICT教育
マンション建設と都市再生
認知症への支援策
橋本 啓一 議員
地域生活の基盤を支える町内会と行政とが、時代に合った新たな連携による地域コミュニティをつくるべき。
答 町内会の自主性を前提とした行政との対等な関係づくりが求められており、次世代に誇りを持って伝えられる新たな関係を構築していく。
その他の主な質問項目

審議の概要

日本共産党

ふるくぼ **和子 議員**
夏・冬休み中の授業日設定を可能にした学校管理規則の改正は、二期制の破綻の現れた。教育行政は市民の声をよく聞いて進めるべき。学校の安全を守る役割を果たしている用務員を非常勤化することは、学校の安全を後退させるものなので集中改革計画から削除すべき。通学範囲を広げ可能な通学条件を保障できない市立小中学校の一定規模・適正配置の議論は凍結すべき。

の教科とのバランス等、多面的に調査・研究したい。
答 公の施設の指定管理者を公募で選定する際、プレゼンテーションの実施状況は、これまで公募した19施設のうち14施設でプレゼンテーションを実施し選定した。
答 事業の見直しや優先度を精査した結果の削減だが、今後も工夫し、充実を図る。
障害者自立支援法施行に伴う負担増に特別な配慮を
答 所得把握の特例や低所得者への減免等の法制度があり、市としてその周知を図る。その他の主な質問項目
市政への市民参加について
細網改正と業務遂行体制
介護保険料改定の問題点
適切に進めてまいりたい。
辻 隆一 議員
市民センターの市民講座等予算の削減は問題では。
答 事業の見直しや優先度を精査した結果の削減だが、今後も工夫し、充実を図る。
障害者自立支援法施行に伴う負担増に特別な配慮を
答 所得把握の特例や低所得者への減免等の法制度があり、市としてその周知を図る。その他の主な質問項目
市政への市民参加について
細網改正と業務遂行体制
介護保険料改定の問題点
適切な進めてまいりたい。
社 民 党
齊藤 重光 議員
経営規模の拡大は必要だが、四ヘクタール未満の小規模兼業農家への支援策は、水路・農道の維持管理等の共同作業に対する支援や各種の研修等を進めていく。
答 農産物の仙台ブランドの構築と地産地消の推進策は、関係各主体の連携のもと、産直市や直売所の取り組み等総合的な展開を図る。
その他の主な質問項目
災害時のトイレ確保策
ドクターカーの本格実施
や し ろ
屋代 光一 議員
愛姫の里・三春町の滝桜の子孫を譲り受けて西公園に植栽し、また、天文台職員



知的障害者更正通所施設(仙台市泉ひまわりの家)

実験開始に関し、出入り口となる野村地区の土地利用進捗と産業の振興について伺う。
答 同地区は、現在、市街化推進の状況にないが、今後ICの利用の動向や高速道路の有効活用等を見据え、土地利用等を検討していく。
その他の主な質問項目
荒川静香選手への賞と讃辞
泉ヶ岳周辺地区の市民が憩える利活用について
市民センター事業の見直し
加藤 栄一 議員
本市の将来ビジョンを早急に市民に知らせ、市民の求めるものを受け止めて具現するにはどうするか伺う。
答 有識者等から意見を伺い、新たなビジョンを策定し、それに基づく都市づくりを進めるべく市民に提示したい。
その他の主な質問項目
食料自給率向上と農政推進
食育の推進について
J-R 仙山線について
機能強化と積極的活用
高校生のマナーアップ作戦
渡辺 博 議員
市長の市政執行に関して市民に戸惑いがある。今までの市政や市民との関係をどう考え、今後進めていくのか。
答 施政方針は基本構想等が示す時代の流れを踏まえたもので整合している。今後市民や議会と率直な意見交換をし理解いただくよう努める。
その他の主な質問項目
動物愛護行政基本方針の周知と小中学校での教育
イクレイによる地球環境保全推進での中心的役割を

介護保険制度改正を受け、市民福祉の向上と事業の効率化に向けた、サービス事業者との新たな協力関係を
フォーラム仙台
日下 富士夫 議員
宮城県沖地震対策として、災害情報提供システム構築の取り組み状況伺う。また、災害時の要援護者安否確認マニュアルの早急な作成を。
答 本年四月から災害情報を電子メール等で提供予定。マニュアルは、十八年度中に作成できるよう取り組む。
その他の主な質問項目
区の拠点を含む災害ボランティアセンターの体制整備



災害ボランティアも参加しての地域防災訓練

市民協働による公園等整備
福祉移送サービスの状況
佐藤 わか子 議員
市職員の意識改革のための全庁的組織を作るべき。
答 組織横断的なプロジェクトチームの設置等を集中改革プランに反映させたい。
問 県と市が協力して魅力ある音楽ホール建設の実現を。
答 現時点で推進する状況にはないが、協力の可能性等を幅広く更に研究していく。
その他の主な質問項目
新設の子供相談支援センターの目指すべき方向性は定禅寺通の土日歩行者天国



三春町の滝桜

が発見した小惑星に「愛姫」と命名されるよう要請しては。
答 市民サイドの交流を通じて西公園への植栽を基本に、大いに協力する。小惑星の命名は、発見者と三春町の皆様のお気持ちを踏まえ検討する。
その他の主な質問項目
市長の仙台への永住
市長の退職金の削減
食の安全とBSE問題
無所属の会
岡 征男 議員
施政方針で自立や競争を厭わない都市を挙げているのに、都市自立の絶対前提である地方分権に全く言及しないのは熱意の無さではないか。
答 財政再建に傾斜した地方分権等は真の地方自立に不十分で、建設的議論が必要だ。その他の主な質問項目
市民センター事業の縮小は縦割り精査でしかなく、総合的評価を



縮小される市民センター講座

総務財政委員会

平成 18 年 3 月 1 日開催

総務局・企画課・財政局その他を所管
付託された議案番号
(第 33 号・49 号・76 号・82 号・83 号)
付託議案審査
付託された十五議案のうち、第四十一号議案については賛成多数で、残る十四議案は全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決した。
問 市職員の定数削減の中で、正規職員を年収約二百万円の臨時職員等にかえるのは、安心して市民が生活できない社会環境を、自治体が促進させることになるのではないか。
答 多様化するニーズに対応した行政サービスの提供やコストの削減が求められており、その中で臨時職員等の形態で対応しているが、市民が生活できない社会環境を、自治体が促進させることになるのではないか。
その他の質問事項
議員、市長、助役及び収入役の給与等の改定
長期継続契約を締結できる契約

健康福祉委員会

健康福祉局・市立病院を所管
付託された議案番号
(第 35 号・36 号・52 号・54 号・56 号)
付託議案審査
付託された五議案は、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。
問 障害者自立支援法における福祉サービスに係る費用負担の仕組みについて伺う。
答 費用総額から利用者負担を差し引き、残りを国、県、市で負担する制度設計である。サービス需要の増大に向け、制度の安定的な運用のため、低所得者の方に一定の配慮をした軽減策を講じた上で、の利用者を負担を設けた。
健康福祉局からの報告
東横インにおけるひとにやさしいまちづくり条例等違反に関する調査及び是正指導について
高齢者保健福祉計画(介護保険事業計画)(一案)の概要

都市整備建設委員会

都市整備局・建設局を所管
付託された議案番号
(第 60 号・63 号・68 号・79 号)
付託議案審査
付託された七議案のうち、第七十三議案については賛成多数で、残る六議案は全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決した。
問 指定管理者の選定に当たっては、書類審査だけではなくプレゼンテーションも必要ではないか。
答 今後、選定委員会の中で、プレゼンテーションやヒアリングの実施に向け協議していきたい。
都市整備局からの報告
東横インにおける建築基準法等違反に関する調査及び是正指導
問 今回のような不正を二度と出さないための市としての対策は、
答 既存建築物の定期報告の徹底、消防局との合同調査や小規模雑居ビルの立入調査の強化等、様々な機会を捉え違反防止に努める。

市民教育委員会

市民局・消防局・教育委員会を所管
付託された議案番号
(第 34 号・37 号・39 号・66 号・71 号・74 号・75 号)
付託議案審査
付託された十議案のうち、第三十七号・三十九号議案は賛成多数で、残る七議案は全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。
問 安全安心な街づくり条例には人と人の信頼関係を構築するという理念をしっかりと持つべきと思うが、所見を伺う。
答 この条例は、管理強化による犯罪減少を目的とするものではなく、地域コミュニティの希薄化がいわれている中、地域社会が連携して犯罪の起きにくい環境づくりを進め、その結果犯罪を未然に防止しようとするものである。
付託議案の質疑項目
国民保護法に係る市の対応
(仮称)仙台市立広瀬第二小学校の建設について

経済環境委員会

環境局・経済局・農業委員会を所管
付託された議案番号
(第 58 号・72 号)
付託議案審査
付託された二議案は、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。
問 入館者が伸びている秋保文化の市民センターやビクターセンターは、指定管理者にしわ寄せが来ないような予算を確保すべき。
答 両施設の十八年度予算は減額となるが、運営や事業執行上の工夫を行いながら、必要な事業を行うための予算は確保した。
問 市の財団が運営する文化の里センター等の施設は、将来的には地元中心での自主的な管理運営をしてもらうつもりなのか。
答 地域の実態等を熟知した方々の運営が最も望ましい。地元地域で受け皿づくりを検討しており、整ったときは、地元任せたい。

公営企業委員会

水道局・交通局・ガス局を所管
付託された議案番号
付託された議案なし
交通局からの報告
市バスの運行系統の変更等
運行系統の新設、廃止及び経路の変更等を四月から実施する。
問 バス停留所の名称を変更する場合には、特に高齢者への配慮から、十分な周知が必要では。
答 実施するにあたり、町内会長や地元の方々の説明し、十分なご理解をいただいているが、今後は、さらなる周知を図りたい。
ガス局からの報告
都市ガスにおける原料費調整制度の適用について
原料価格の変動に際し、三月月ごとにガス料金の従量料金単価を調整しているが、今回の調整では、四月から六月まで、標準世帯で一月月当たり、税抜き173円の高額引き上げとなる。

用語解説

本文中に青文字で表記した用語を解説しています。

付託議案番号
一定規模以上の商業ビルなどの大型施設において設置が義務付けられている、利用者のための駐輪場。
救急告示病院(注2)(三画一段)
「救急病院等を定める省令」に基づき、消防機関より搬送される傷病者を二十四時間体制で受け入れる病院。申し出があり、一定要件を備えた病院を知事が認定する。
病院群当番制(注3)(三画一段、六画四段)
医師の常駐等の診療体制を備えた四つの当番病院と、当直医や空床等の状況で救急搬送を受け入れる十七の協力病院が機能分担して連携する市独自の制度(四月改正)。
イクレイ(注4)(四画一段)
環境に関する国際自治体協議会のこと。

付託議案番号
要介護者の居宅を夜間等に定期的に巡回したり、また、緊急時には、事業者が設置するオペレーションセンターへの利用者からの通報により行う訪問介護サービス。
居久根(注6)(五画一段)
方言で屋敷の周りを囲む森林のこと。垣根や防風林として、また新や家屋建設のための木材の供給源等、多様な機能を備えている。
内部障害者(注7)(六画四段)
心臓、腎臓、肺、膀胱・直腸、小腸又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害の6障害により、身体障害者手帳の交付を受けた人。
資本費平準化債(注8)(七画一段)
下水道事業債のうち、供用開始前及び開始当初の施設に係る元利償還金を対象に、利息等の負担を将来に繰り延べ、当初負担を軽減し、世代間負担の公平を図る起債。